

2014年7月15日  
株式会社日立メディコ  
取締役社長 山本 章雄

オープン カル テ エーディー  
**Web型電子カルテシステム「Open-Karte A D」発売**  
地域に密着した有床診療所・小規模病院向け



[システム画面イメージ]

株式会社日立メディコ(本社所在地:東京都千代田区、取締役社長:山本章雄、資本金 138 億 8 千 4 百万円)は、有床診療所・小規模病院向け電子カルテシステム「Open-Karte<sup>\*1</sup> AD」を 10 月 1 日から発売します。

なお、本システムは、2014 年 7 月 16 日から開催される国際モダンホスピタルショー 2014 に展示いたします。

## 1. 開発の目的

日本の高齢化率(65歳以上の人口が総人口に占める割合)は、2013年に25%を超え<sup>\*2</sup>、高齢者の生活を支援する地域づくりが社会的課題とされています。医療・介護分野では、2014年度診療報酬改定で、中小病院や診療所の主治医機能を評価する地域包括診療料の新設、有床診療所入院基本料の引き上げが行われるなど、「地域に密着した病床<sup>\*3</sup>」が重視されています。

現在、電子カルテシステムは、電子化が進む大規模・中規模病院および新規開業の無床診療所を中心に普及していますが、今後は、有床診療所・小規模病院においても、医療情報の適切な管理および施設間連携のため、電子カルテシステムの導入が進むと考えられます。

そこで、当社は、「Open-Karte」(2004年発売)の特長を継承しつつ、有床診療所・小規模病院の運用に合わせ「Open-Karte AD」を開発しました。

## 2. 製品の特長

### (1) フレキシブルな運用を実現する新しいオーダ機能

有床診療所・小規模病院では、各スタッフが複数の業務を担当することが多く、電子カルテシステムの運用が施設ごとに異なります。

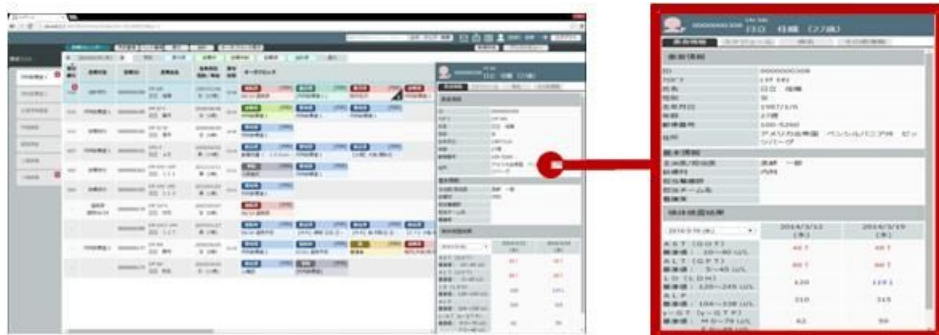
「Open-Karte AD」のワークフロー支援機能は、施設ごとに異なる業務や運用に合わせ、医師からのオーダ経路(ワークフロー)を状況に応じて設定・変更できます。これにより、オーダ実施者の変更やオーダの進捗状況確認が可能になります。

また、必要な情報をスタッフ間で共有するため、オーダの中止や変更理由などをコメントとしてワークフローに付けることができます。

### (2) 職種や業務に合わせて、必要な情報を表示

病歴やアレルギーなど重要な情報見落とし防止のため、「Open-Karte AD」は、患者基本情報や検査結果を同一画面に表示します。また、業務ごとに医師、看護師、放射線技師が参照すべき情報を表示するアシストビュー機能を開発しました。

これらにより、毎回カルテ画面を開くことなく、患者ごとに注目すべき医療データを効率的に確認することができます。



[患者リスト画面(左)とアシストビュー画面(右)]

### (3) システム構築の作業工数を削減

導入施設での運用を全て把握した上で電子カルテシステムを構築する場合、運用設定に多くの作業工数を必要とし、構築期間も長くなります。

「Open-Karte AD」では、運用設定を定型化することで作業工数を削減し、システム構築期間の短縮を実現しました。

### (4) 便利な機能を継承

2004年の発売以来、多くの中小規模病院で導入いただいている「Open-Karte」の特長である、接続端末に専用ソフトのインストールが不要な「Web ベースシステム」、部門システムと電子カルテシステムが一体となった「オールインワンパッケージ」、診療計画を一覧表示できる「診療カレンダー」を継承しています。

3. 製品名: Web型電子カルテシステム Open-Karte AD

4. 発売時期: 2014年10月1日

\*1: Open-Karte は株式会社日立メディコの日本における登録商標です。

\*2: 平成26年度版 高齢社会白書(内閣府) 第1章 第1節 高齢化の状況 2頁

\*3: 平成25年3月13日 中央社会保険医療協議会総会(第239回)資料 総-3「入院医療について」

#### お客様お問い合わせ先

株式会社日立メディコ メディカルITマーケティング本部 【担当:立花】

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号秋葉原UDX18階

電話 03-3526-8311

#### 報道機関お問い合わせ先

株式会社日立メディコ 法務・コミュニケーション部 【担当:齋藤】

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号秋葉原UDX18階

電話 03-3526-8809

以上